

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 津久見 開催概要

〔開催日：平成31年1月25日（金）〕

〔学校訪問①〕 大分県立臼杵支援学校

〔訪 問 者〕 大分県教育委員会（工藤教育長、教育委員、理事、教育次長 他）

臼杵支援学校は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援により個々の能力や適性を伸ばすことで、基本的な生活習慣を身につけ社会参加に向け主体的、意欲的に生活を営むことのできる児童生徒の育成を目指している学校です。

今年度は、カリキュラム・マネジメントの充実、アクティブ・ラーニングに基づいた授業改善、安心・安全な学校づくりを重点目標に、「個別の指導計画」等を活用したPDCAサイクルを中心に据えた学校運営が行われていました。

また、地元企業にみそ造りの協力をお願いするなど、地域との結びつきを大切にした取組についても紹介がありました。



授業の様子

〔学校訪問②〕 津久見市立青江小学校

〔訪 問 者〕 大分県教育委員会（工藤教育長、教育委員、理事、教育次長 他）
津久見市教育委員会（事務局）

青江小学校では、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)(CS)を導入し、学校・家庭・地域による目標の協働達成に向けた学校運営が行われています。平成29年度からは県のスクールヘルスアップ事業を活用し、栄養教諭が中心となって子どもたちの健やかな体の育成にも取り組む中で、親子でテーマを決めて家庭での運動に取り組む「親子ワントライ」を実施しています。

意見交換では、全校の前で自分の意見を発表する機会を継続して設定することが児童の自信に繋がり、授業中の発表も活発に行われていることなど様々な取組が紹介されました。



習熟度別指導の様子

〔学校訪問③〕 津久見市立第二中学校

〔訪 問 者〕 訪問先②に同じ

第二中学校では、学校評価の4点セットの重点項目に掲げた目標達成に向けて「知」「徳」「体」の3つのグループを作り、毎月部会を開催して組織的な検証・改善を行うとともに、CSを導入し家庭・地域と協働した取組が行われています。

当日は、平成29年度に水害の被害に遭ったこともあり、津波や水害の際の避難場所や経路、食料等の備蓄や、学校における働き方改革の推進に向けた教職員間での役割分担等の取組について意見が交わされました。



理科の授業の様子

[意見交換会テーマ] 「芯の通った学校組織」を基盤とした大分県版「チーム学校」の実現
(1) 就学前の検診データ等を活用した個に応じた指導の充実について
(2) 学校、家庭、地域が一体となった肥満防止対策の今後の展開について
[出席者] 学校訪問②、及び平山教育長、教育委員、津久見市立小・中学校長(小学校5校、中学校2校) 他

意見交換会では、市全体の取組状況の説明の後、各学校長から自校の現状・課題についての説明も交えながら2つのテーマについて意見交換を行い多数の取組を紹介いただきました。

(1) 就学前の検診データ等を活用した個に応じた指導の充実について

▶津久見市では就学に関する相談を幼稚園・保育園の教員、健康推進課の保健師、社会福祉課が所管する地域自立支援協議会、子ども発達支援事業所等が実施し、市教育委員会と連携を行っている。

▶幼・小・中での校種間連携を更にきめ細かに行う必要がある。

▶経済的な援助として、準要保護児童・生徒就学援助費制度や特別支援教育就学奨励費の制度を積極的に活用している。

▶子どもの困りに対して関係機関が連携しチームとして対応していることで、不登校児童生徒の減少という成果に繋げることが出来ている。



(2) 学校、家庭、地域が一体となった肥満防止対策の今後の展開について

▶津久見市民の健康寿命や平均寿命の伸長、そして健康管理を考える上で、就学前から児童・生徒までの期間における支援の必要性から取組を更に進めたい。

▶県のスクールヘルスアップ事業を活用して、栄養教諭が中心となって推進校で取組を進めている。

▶食生活、生活習慣、運動習慣それぞれで評価指標を定めて小・中学校での実践や保護者への啓発を行っている。

▶今年度の主な課題は、栄養バランスを考えた食事の摂取、遅い就寝時刻、運動習慣定着の二極化の解消。

▶今年度は、各学校と市関係部局の連携を図り、地域人材を活用するなどして、幅広い広報活動に力を入れる。

【主な意見】

▶就学支援については、各機関と連携し、協力して進めることが重要であり、地域振興と子育ては密接な連携が大切。

▶就学前検診の結果については、専門家に協力を依頼して少しでも早く保護者に理解を得られるように取り組みを進めてほしい。

【意見交換を終えて(工藤県教育長から)】

子どもの困りに対する支援について、津久見市教育委員会や学校現場では、大変な悩みがあるということを知ることができました。今後県教育委員会としても何が出来るのか考えていきたいと思えます。

肥満防止対策については、学校給食会が血管や脂肪の塊などの模型を所有しているので、学校でも指導に活用してもらいたい。大分県は健康寿命日本一を目指しており、津久見市には課題の改善に向けて今後さらに取り組んでいただきたい。